北海道と東北地方の広域連携による旅行需要創出
にかかる調査事業

報　告　書

平成 27 年　3 月

国土交通省　東北運輸局

北海道と東北地方の広域連携による旅行需要創出にかかる調査事業
報　告　書
≪目　次≫

１．業務概要 1

２．調査全体計画 2

３．他組織との連携による北海道と東北地方の広域連携軸の深度化..... 3

３－１　過年度調査の結果を踏まえた発展テーマの検討と観光資源の整理..... 3

３－２　新規テーマの設定と観光資源の整理..... 12

３－３　設定したストーリー性あるテーマでの周遊ルート..... 21

３－３－１　過年度調査のテーマの深掘りによる周遊ルート..... 21

３－３－２　トレイルによる周遊ルート..... 26

３－３　トレイルテーマの発展可能性について..... 32

４．既存共通乗車券の道南・東北相互活用の可能性検討..... 35

４－１　既存共通乗車券の整理..... 35

４－１－１　既存乗車券の概要..... 35

４－２　広域周遊を促進するための交通機関同士の連携課題..... 40

５．北海道と東北の広域連携による観光需要創出の可能性検討..... 41

５－１　北海道と東北の広域連携による観光需要創出の可能性検討..... 41

５－１－１　台湾人観光客の旅行特性を把握するための調査の企画..... 41

５－１－２　調査の実施..... 47

５－１－３　台湾人観光客の旅行特性..... 48

５－２　台湾人の観光実態と観光意向の分析によるストーリー性あるテーマの設定... 84

５－２－１　台湾人の観光実態と観光ニーズの分析..... 84

５－２－２　観光テーマの設定..... 85

５－３　設定したテーマに関連する観光資源の整理..... 86

５－４　設定したストーリー性あるテーマでの周遊ルート（案）..... 90

５－５　周遊促進のための課題..... 96

５－５－１　基礎調査の実施..... 96

５－５－２　周遊促進のための課題..... 138

参考資料１．中国本土・香港観光客の旅行特性..... 139

１．業務概要

（１）業務の目的

平成２７年度の北海道新幹線新函館北斗駅開業に伴い、北海道との広域的な連携による取り組みが必要となっている。平成２５年度は、北海道と東北地方の広域連携による旅行需要創出を目的に、札幌市、仙台市、首都圏居住者に対し北海道・東北の観光資源に関する関心度、認知度を調査し、それらをつなぎ合わせたストーリー性のあるモデルルートならびに周遊促進策を検討した。

調査結果から、北海道と東北を結ぶストーリー性のあるテーマに対して、関心があることが明らかになり、これらストーリー性のあるテーマに関連した観光資源の認知度が未だ低いことから観光需要の伸び代を確認することができた。また、新幹線開通後においても北海道と東北の移動において、フェリーなど多様な交通手段の利用意向も確認されたことから、既存の公共交通割引切符を活用・拡張することで周遊促進を図れる可能性を明らかにした。

本年度においては、検討結果から明らかになった事項を踏まえ、他組織と連携しつつ、広域連携軸の深度化を図り、周遊促進策の具体的な検討を行うこととする。

また、ジャパンレールパスのように、外国人観光客の広域移動を支援している割引切符の活用による北海道・東北の広域観光の創出について検討を行うため、特に台湾市場の意向、条件について検討を行うものとする。

（２）業務フロー

本業務の業務フローを下記に示す。

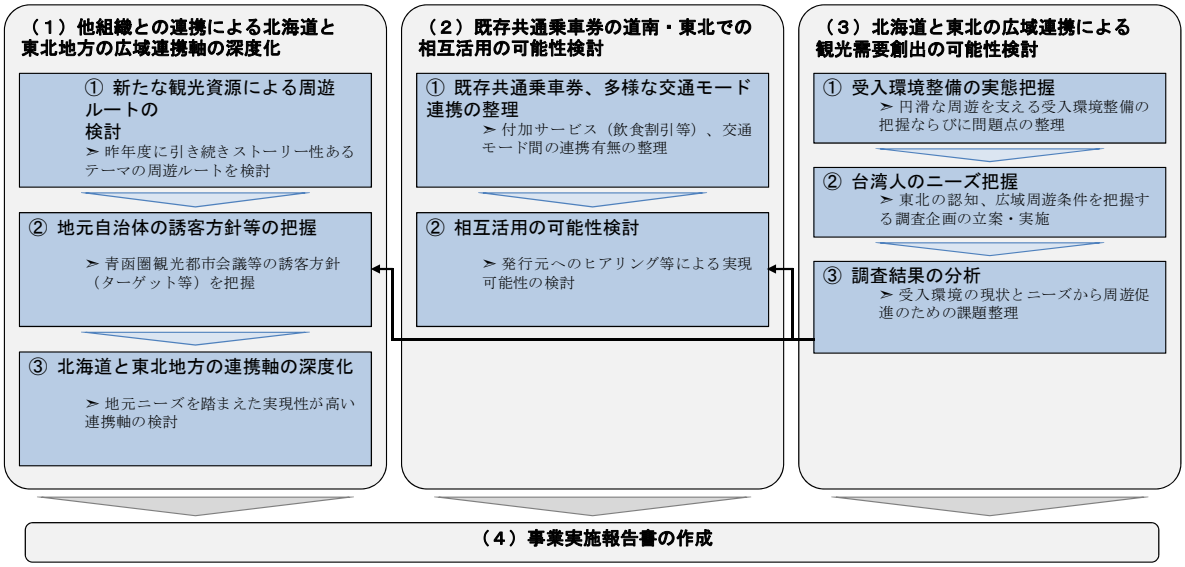

図　業務フロー